SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

I 日本語・日本事情教育：日本語研修コース(29期・日本語補講)(年次報告(平成26年度後期・27年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00009636

Ⅰ　日本語・日本事情教育

日本語研修コース29期・日本語補講

熊井　浩子

1．コースの概要

26年度後期（第29期）は、正規生として教員研修留学生１名が日本語１を受講した。学習スタイルの違いもあってか、これまでの学習者に比べてコミュニケーション力という点ではやや時間の必要な学習者であったが、受講者が１名ということもあり、進度を調節することでこれに対応した結果、無事修了要件を満たすことができ、修了証を授与することができた。

27年前期は、日本語研修コース受講者がいなかったため、授業数を15コマから11コマに減らし、日本語補講として日本語教育プログラムの各レベルを補う形で開講した。受講者は延べ53名で、単位はないが、80％以上の出席とＣ以上の成績を取った学生には希望に応じて受講証が授与された。

2．授業期間

日本語研修コース（第27期）　平成26年10月８日～平成27年２月10日　15週
日本語補講　平成26年４月９日～平成26年７月29日　15週

3．日本語研修コース（第27期）

3．1．受 講 者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1	バングラデシュ	教育学研究科・研究生（教員研修留学生）

3．2．時 間 割

日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

3．3．授業内容

日本語Ⅰ（入門）
目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

基礎日本語　10コマ／週
目　　的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。
内　　容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習
使用教材：『みんなの日本語　本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語　翻訳・文法解説　英語版』初級Ⅰ・Ⅱ（同上）
『日本語かな入門　英語版』(国際交流基金)

会　話　1コマ／週
目　　的：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。
内　　容：基礎日本語の既習事項の運用練習。日本語ネイティブスピーカーとの会話。校外学習の計画作り。
使用教材：適宜

聴　解　1コマ／週
目　　的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。
日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。
内　　容：CD・テープ・ビデオなどを使った聞き取り練習及び発音練習。
使用教材：『聴解タスク25』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）
『楽しく聞こう』(文化外国語専門学校）等適宜

作　文　1コマ／週
目　　的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。
内　　容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成
使用教材：『やさしい作文』(スリーエーネットワーク)

漢　字　1コマ／週
目　　的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。
日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。

内　　容：初級前半の漢字の読み・書き、読解
使用教材：『みんなの日本語　漢字　英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）
『みんなの日本語　初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

日本の生活　1コマ／週
目　　的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適応するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。
内　　容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。
使用教材：適宜

4．日本語補講

4．1．時 間 割

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	日本語4①	日本語2①	日本語1②	日本語4②	
3・4時限 10:20～11:50	日本語1①	日本語3①	日本語3②	日本語2②	日本語1①
5・6時限 12:45～14:15			日本語5		

4．2．受 講 者

日本語1①・②：　2名
日本語2①　　：　2名
日本語2②　　：　3名
日本語3①　　：　6名
日本語3②　　：　3名
日本語4①　　：13名
日本語4②　　：15名
日本語5　　：　9名

4．3．授業内容

日本語1①　読解・作文　1コマ／週
目　　的：簡単な文章を読んだり書いたりできるようになる。
内　　容：身近なテーマについて、『にほんご45じかん』の既習事項に沿って、読んだり書いたりする。
使用教材：『にほんご45じかん』（専門教育出版）

日本語１②　会話　１コマ／週

目　　標：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。

内　　容：基礎日本語の既習事項の運用練習・実行

教　　材：『にほんご45じかん』（専門教育出版）

日本語２①　漢字　１コマ／週

目　　的：日常生活に必要な基本漢字の読み書きを習得する。習った知識を使って、簡単な文章を読めるようにする。

内　　容：漢字の読み・書き。初級読解教材を読む。

使用教材：『みんなの日本語Ⅰ初級で読めるトピック25』、『みんなの日本語Ⅱ初級で読めるトピック25』、『みんなの日本語Ⅰ漢字　英語版』（スリーエーネットワーク）など

日本語２②　漢字・読解　１コマ／週

同上

日本語３①　読解　１コマ／週

目　　的：これまでに習得した日本語力を用いて、読める力を身につける。

内　　容：新聞記事を読み、記事の構成や語彙、表現に慣れるとともに、身近な日本社会について考える。また、自分で日本語でたくさんお話を読むことにより、読むことに慣れ、読める力を習得する。

使用教材：新聞記事、『レベル別日本語多読ライブラリー』など

日本語３②　日本語表現　１コマ／週

目　　的：日常生活の中のさまざまな日本語表現を習得し、日本語の幅を広げる。

内　　容：日常の家庭生活の中にある季節感、食生活、伝統文化、ポップカルチャーなどを通して、いろいろな角度からさまざまな日本語表現を学んでいく。

使用教材：『マンガで学ぶ　日本語表現と日本文化　多辺田家が行く!!』（アルク）

日本語４①　日本語能力試験対策　１コマ／週

目　　的：日本語能力試験N2に合格できる力をつける。特に、文法・聴解能力の向上をめざす。

内　　容：日本語能力試験N2対策問題を使って、実践的に学習する。

使用教材：新完全マスター文法　日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク）、その他

日本語４②　日本語能力試験対策　１コマ／週

同上

日本語５　会話　１コマ／週

目　　的：場面に応じた日本語を意図したとおりに話せるようになる。

内　　容：授業中の話し合いを通して、聞き手が不快に思ったり誤解したりしない日本語を話す練習をする。課題として、それを文章化することによって、書く練習にもつなげる。

使用教材：『日本語を話すトレーニング』（ひつじ書房）

平成26年度日本語予備コース（第６期）

袴田　麻里

１．コースの趣旨と目標

14年度後期より開講してきた学部入学前予備教育プログラム（日韓理工系学部留学生コース）を、21年から研究生向けに変更し後期にのみ開講している。

本コースは、修士課程進学を前提に本学で研究生として在籍する留学生に対して、大学院受験に足る、また、修士生として勉学できる日本語能力（日本語能力試験２級以上）を身に付けさせることを目標としている。中級から上級レベルの語彙、文法、漢字能力の補強、発話能力、作文能力の育成を行った。

２．授業期間

第６期：平成26年10月８日～平成27年２月12日

３．受 講 生

日韓理工系学部留学生１名が正規生として履修した。その他に、プレイスメントテストの結果、正規生と同レベルの日本語力を持つと判定された研究生２名（中国１、ベトナム１）が受講することになった。３名とも90％以上の出席率であった。

４．日程と時間割り

〈日程〉　10月３日（金）　ガイダンス
　　10月６日（月）　プレイスメントテスト
　　10月８日（水）　コース開始
　　12月11日（木）　中間試験
　　２月10日（火）　期末試験
　　２月12日（木）　コース修了